

# 最近の経済動向

## 令和元年12月号

(北海道の景気動向～令和元年10月の経済指標を中心として)

**緩やかに持ち直しているものの、一部に弱い動きもみられる**

### ■生産動向

P1 生産活動(鉱工業生産指数)  
弱い動きが続いている

### ■需要動向(消費・投資)

P2 個人消費(百貨店・スーパー・コンビニエンスストア・専門量販店販売額、新車登録台数)  
一部に消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減等による減少がみられる

P5 住宅建設(新設住宅着工戸数)  
減少基調となっている

P6 公共工事(公共工事請負金額)  
増加している

P7 観光(来道者数、来道外国人数)  
改善の動きに弱さがみられる

P9 輸出入(輸出額、輸入額)  
輸出額、輸入額とも前年を下回った

### ■企業倒産

P10 企業倒産(倒産件数、負債総額)  
倒産件数、負債総額とも減少した

### ■雇用動向

P12 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、月間有効求人倍率、完全失業率)  
改善が進む中、人手不足感がみられる

### ■物価動向

P14 物価(消費者物価指数)  
消費者物価指数は前年を上回った

### ■企業の業況感

P15 企業経営者意識調査  
前期から上昇している

P16 企業のみなさまから伺いました

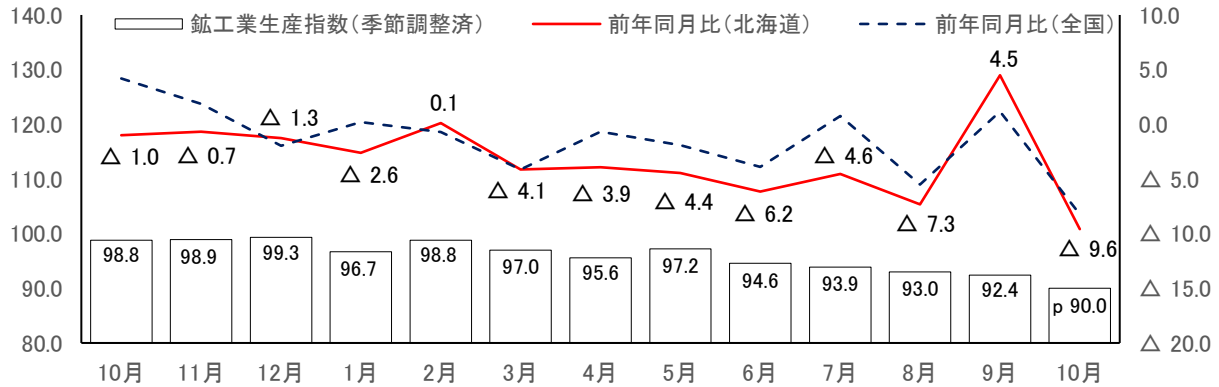
# 生産活動～弱い動きが続いている

## 鉱工業生産指数（10月）

鉱工業生産指数（季節調整済）は、90.0で前月比 $\Delta 2.6\%$ （5か月連続の低下）であり、原指数による前年同月比は、 $\Delta 9.6\%$ （2か月ぶりの減少）となった。業種別にみると、金属製品工業等10業種が前月比低下、一般機械工業等5業種が前月比上昇となった。

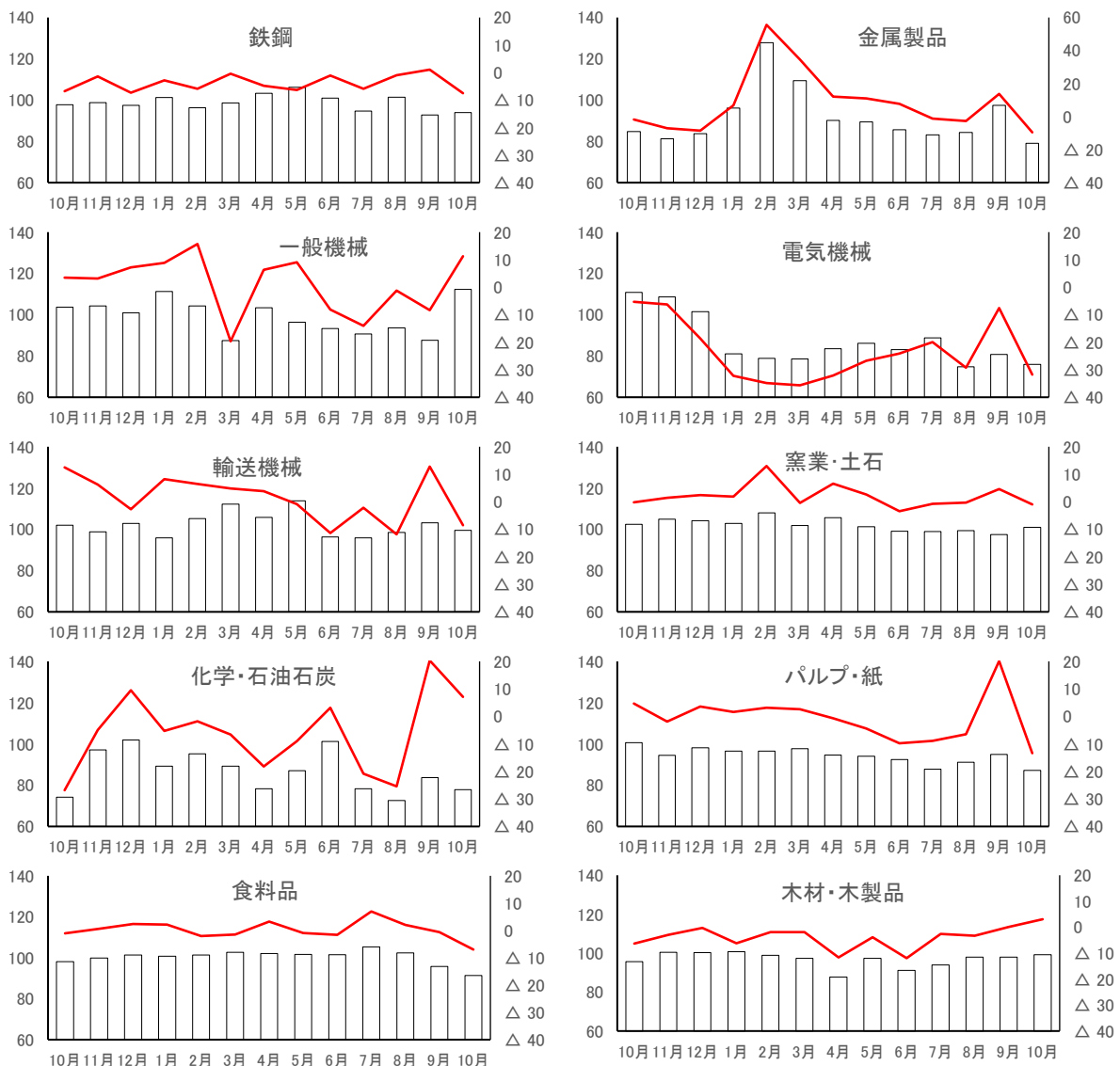
（季節調整済指数：平成27年=100）

（原指数前年同月比：%）



\*「p」は速報値

## ■主な業種の季節調整済指数(右軸:原指数前年同月比%)

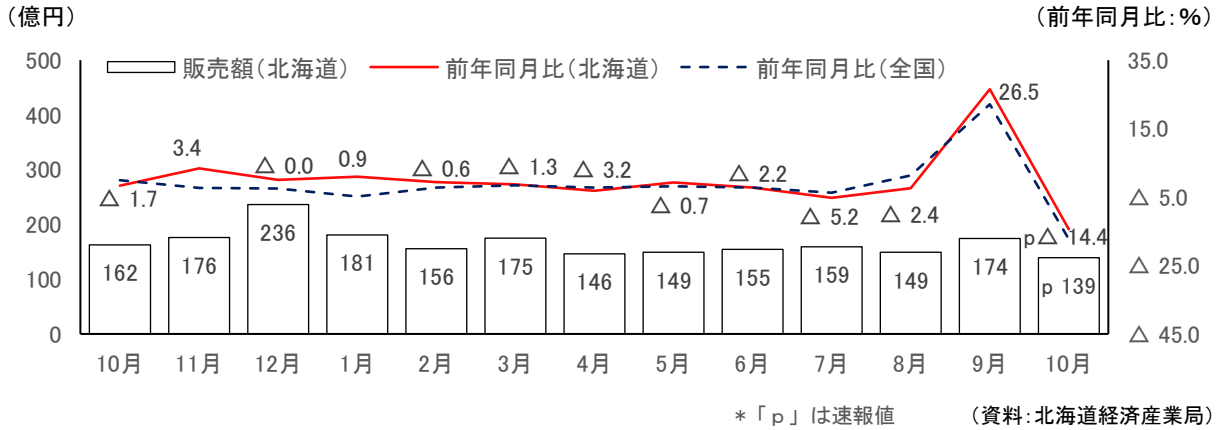


（資料：北海道経済産業局）

■個人消費～一部に消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減等による減少がみられる

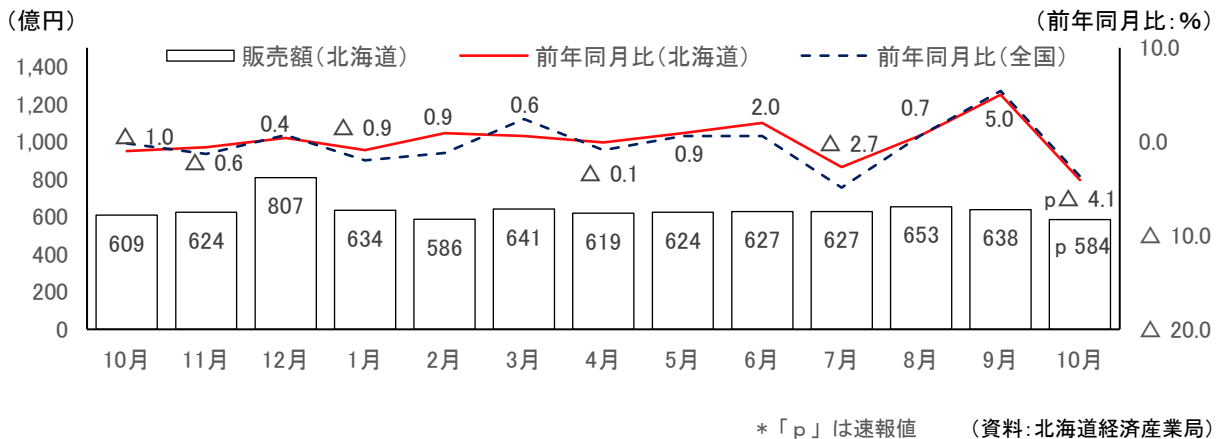
百貨店販売額（10月）

百貨店販売額は、139 億円で前年同月比 14.4%の減少となり、2 か月ぶりに前年を下回った。



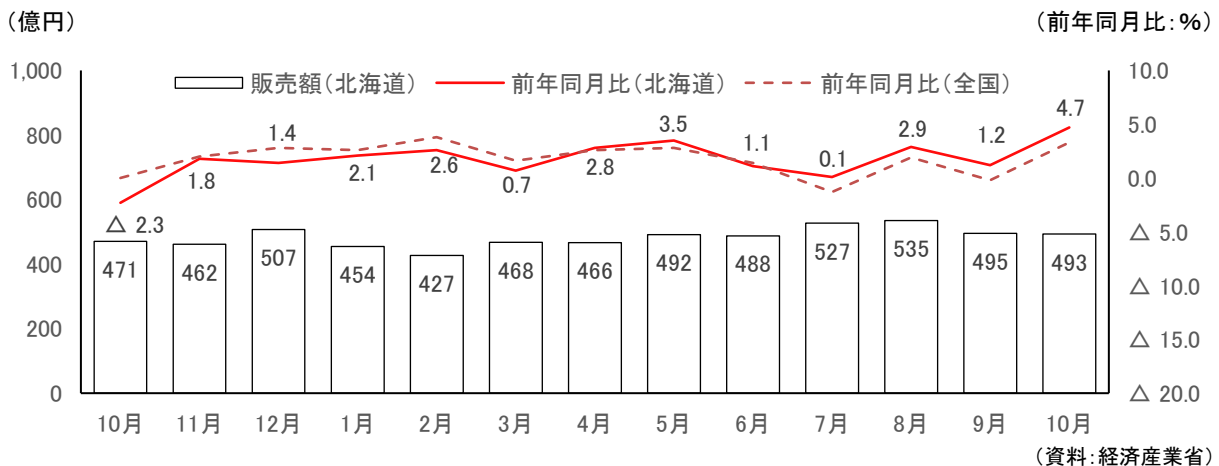
スーパー販売額（10月）

スーパー販売額は、584 億円で前年同月比 4.1%の減少となり、3 か月ぶりに前年を下回った。



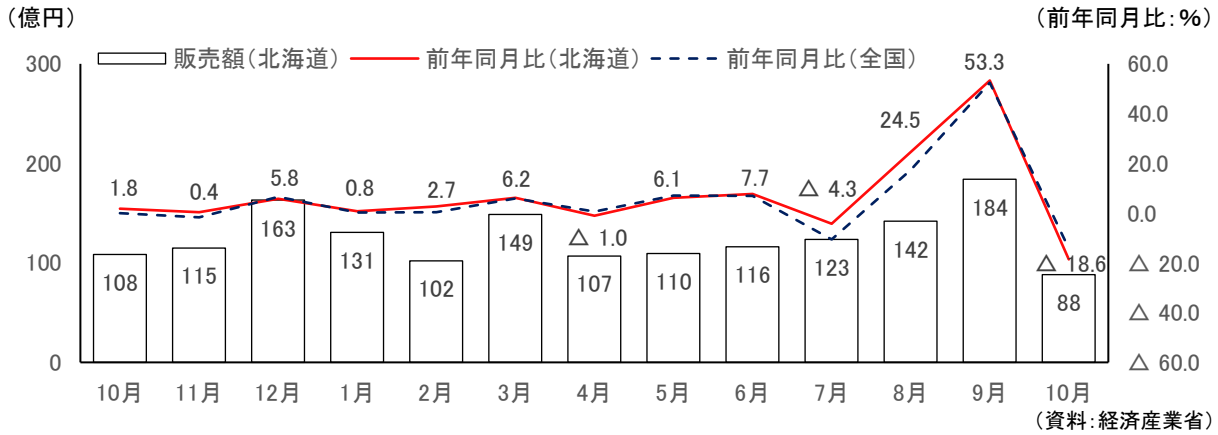
コンビニエンスストア販売額（10月）

コンビニエンスストア販売額は、493 億円で前年同月比 4.7%の増加となり、12 か月連続で前年を上回った。



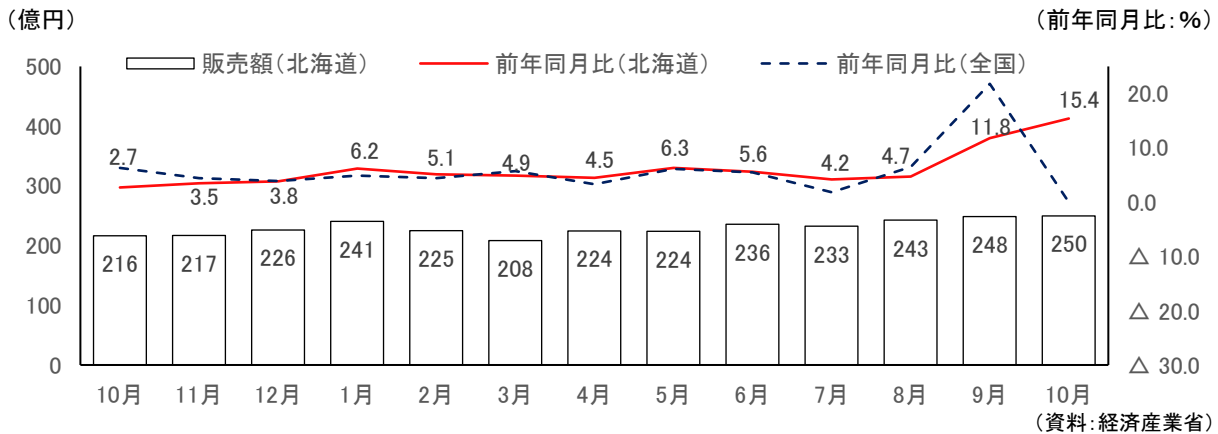
## 家電大型専門店販売額（10月）

家電大型専門店販売額は、88 億円で前年同月比 18.6%の減少となり、3 か月ぶりに前年を下回った。



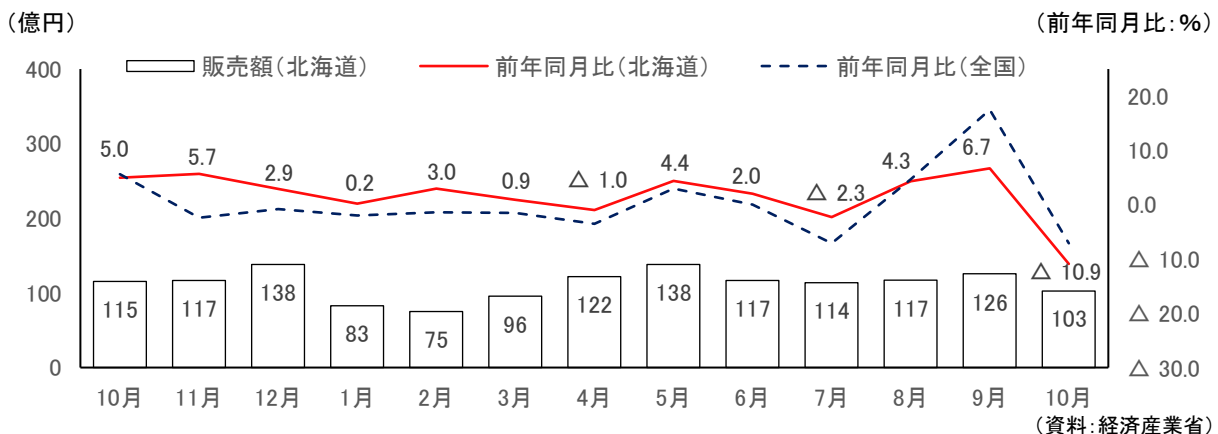
## ドラッグストア販売額（10月）

ドラッグストア販売額は、250 億円で前年同月比 15.4%の増加となり、54 か月連続で前年を上回った。



## ホームセンター販売額（10月）

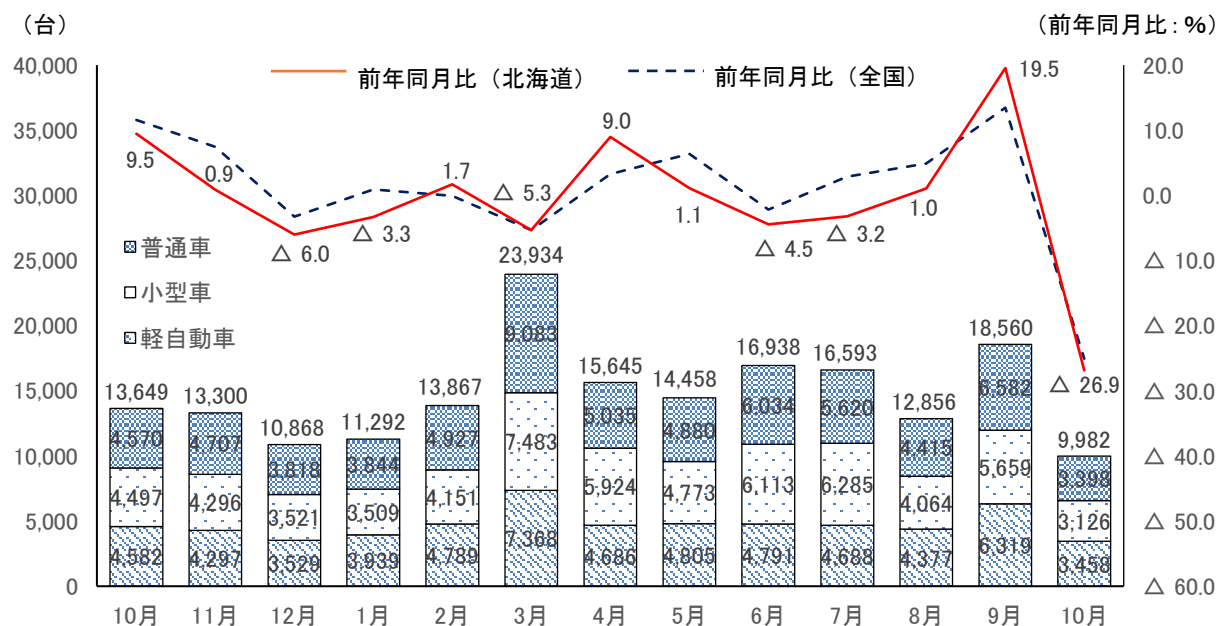
ホームセンター販売額は、103 億円で前年同月比 10.9%の減少となり、3 か月ぶりに前年を下回った。



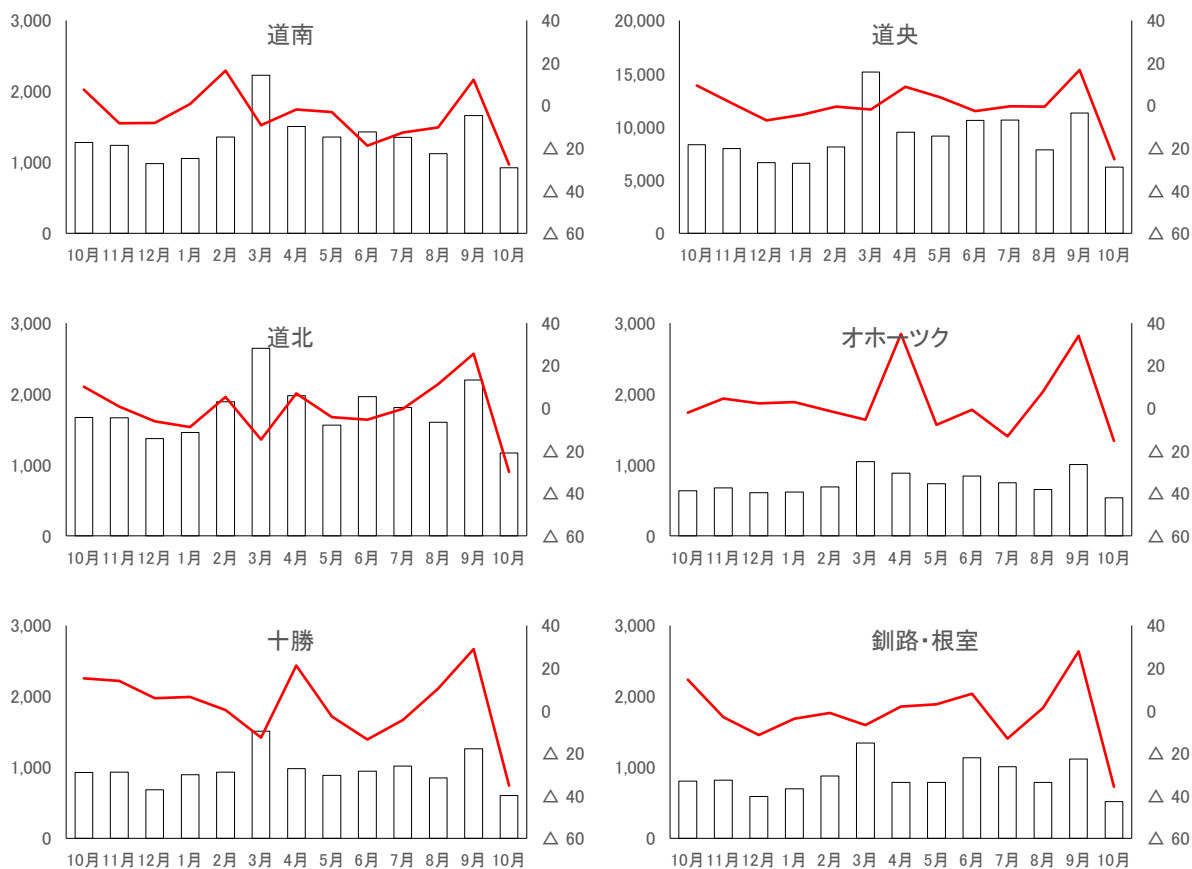
## 新車登録台数（10月）

新車登録台数は、9,982台で前年同月比26.9%の減少となり、3か月ぶりに前年を下回った。

車種別にみると、普通車は、3,398台で同25.6%の減少、小型車は、3,126台で同30.5%の減少、軽自動車は、3,458台で同24.5%の減少となった。



### ■各圏域の新車登録台数（右軸：前年同月比%）



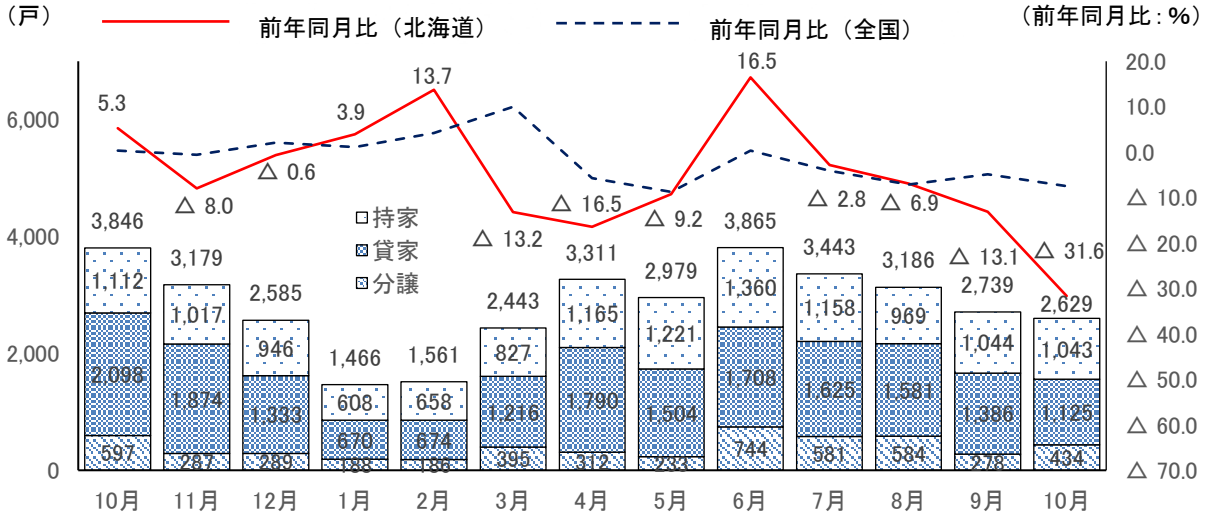
(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

# ■住宅建設～減少基調となっている

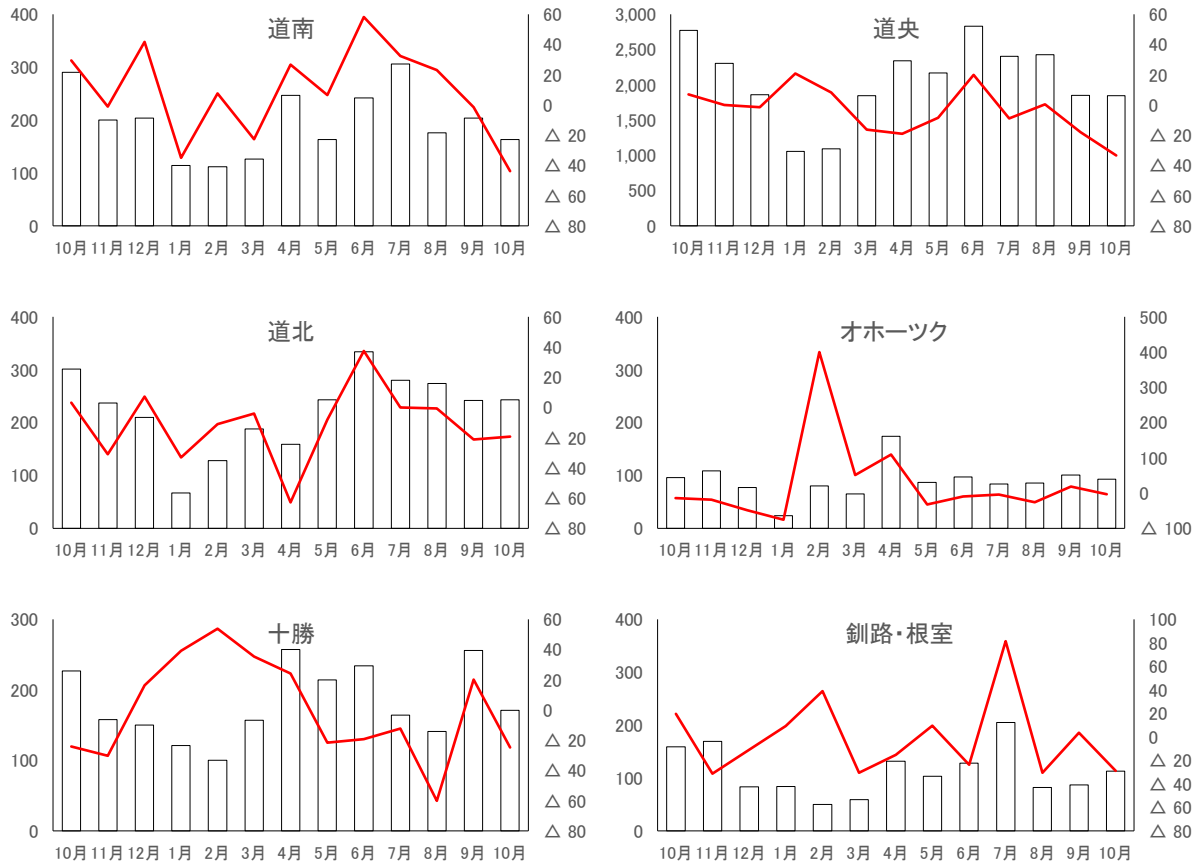
## 新設住宅着工戸数（10月）

住宅着工戸数は、2,629戸で前年同月比 31.6%の減少となり、4か月連続で前年を下回った。

利用関係別にみると、持家は、1,043戸で同 6.2%の減少、貸家は、1,125戸で同 46.4%の減少、分譲住宅は、434戸で同 27.3%の減少となった。



## ■各圏域の新設住宅着工戸数（右軸：前年同月比%）

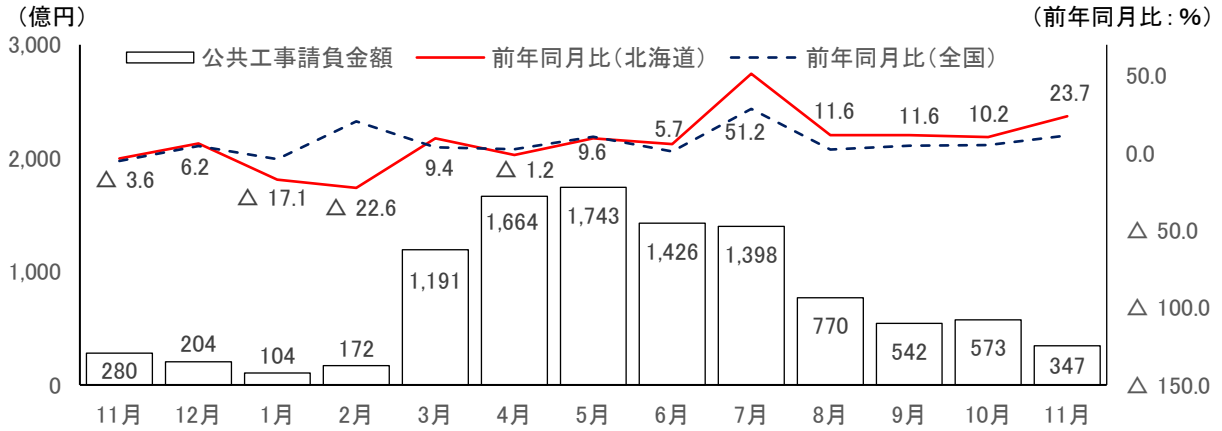


(資料:国土交通省)

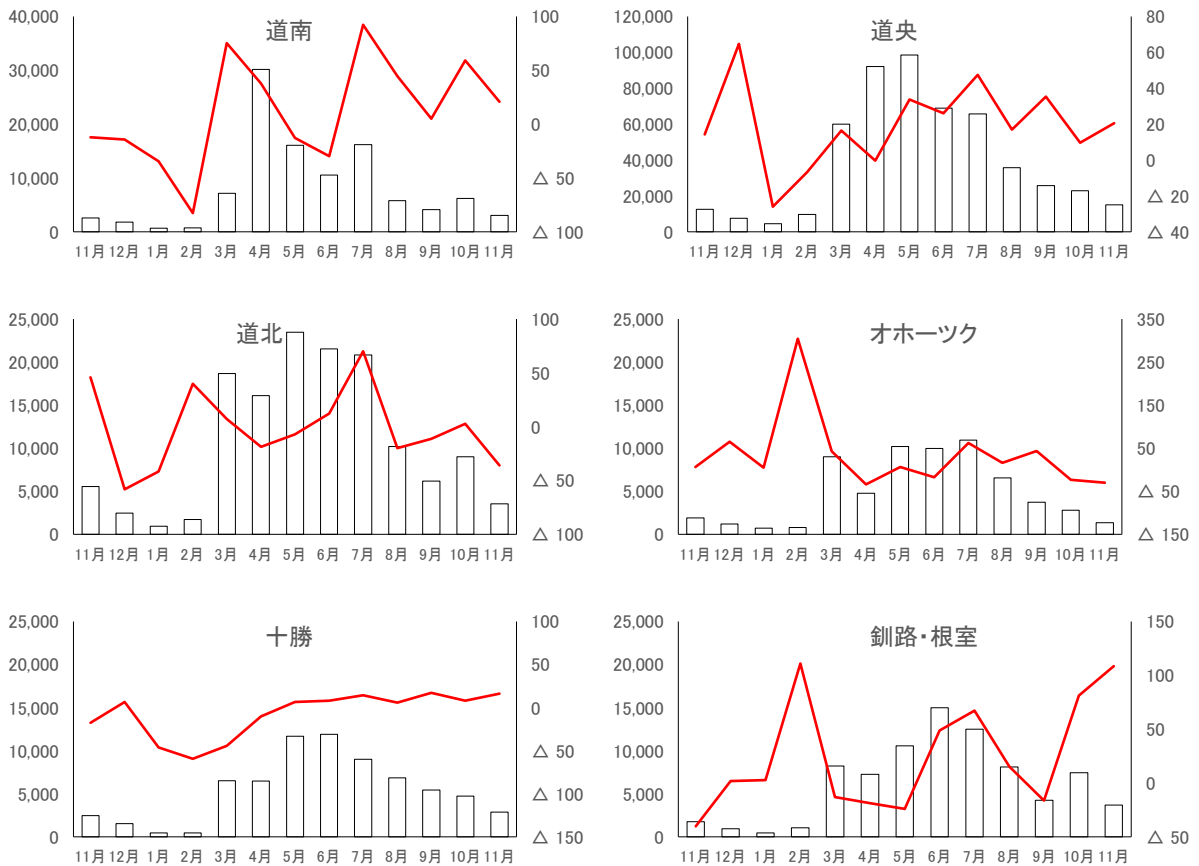
# ■公共工事～増加している

## 公共工事請負金額（11月）

請負金額は、347億円で前年同月比23.7%の増加となり、7か月連続で前年を上回った。



## ■各圏域の公共工事請負金額（左軸：百万円、右軸：前年同月比%）

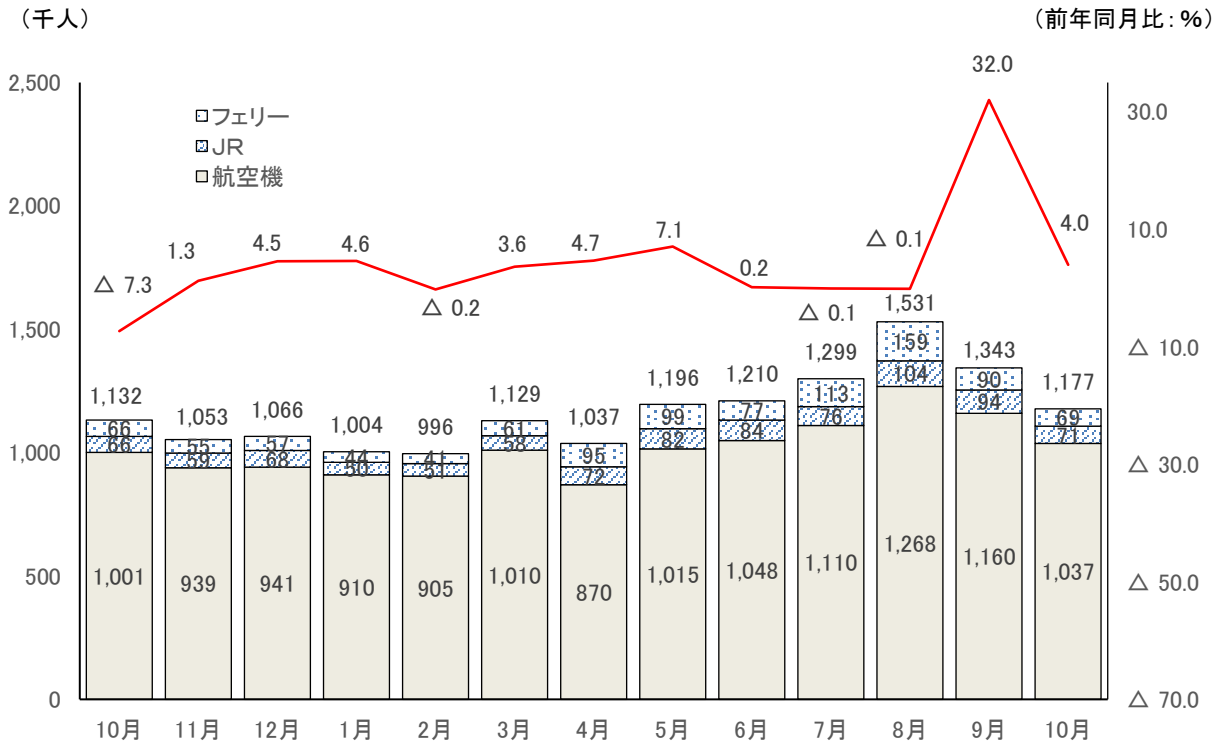


（資料：北海道建設業信用保証（株））

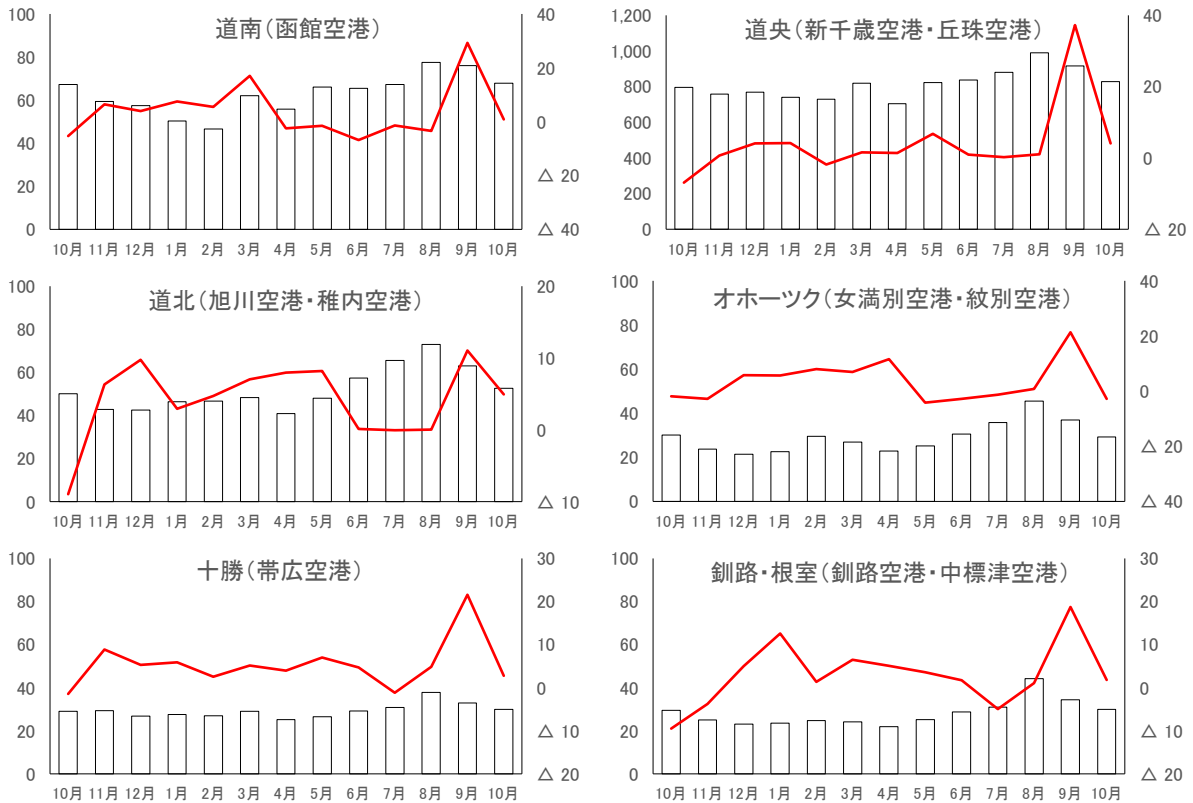
# ■観光～改善の動きに弱さが見られる

## 来道者数（10月）

来道者数は、117万7千人で前年同月比4.0%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。



## ■各圏域の航空機利用による来道者数（左軸：千人、右軸：前年同月比%）

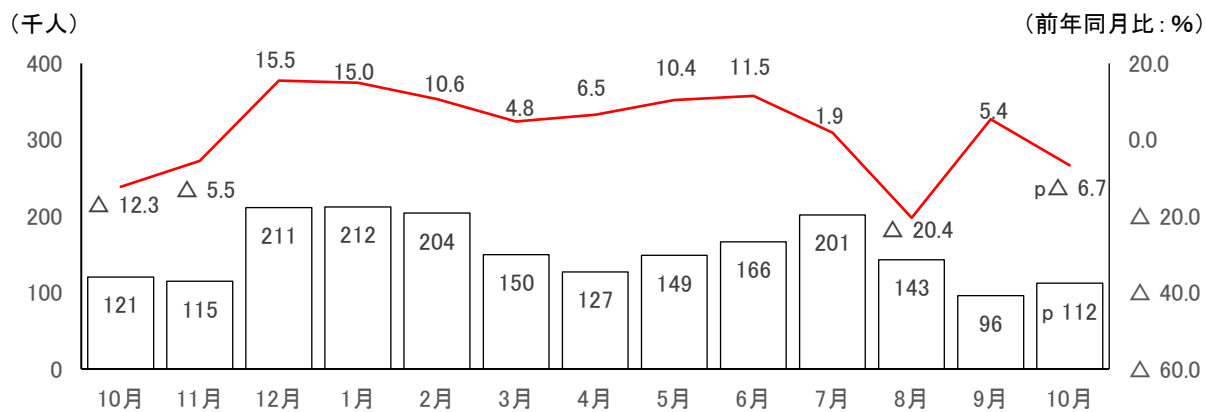


(資料：(公社)北海道観光振興機構)



## 来道外国人数（10月）

本道に直接入国した外国人は、11万2千人で前年同月比6.7%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。



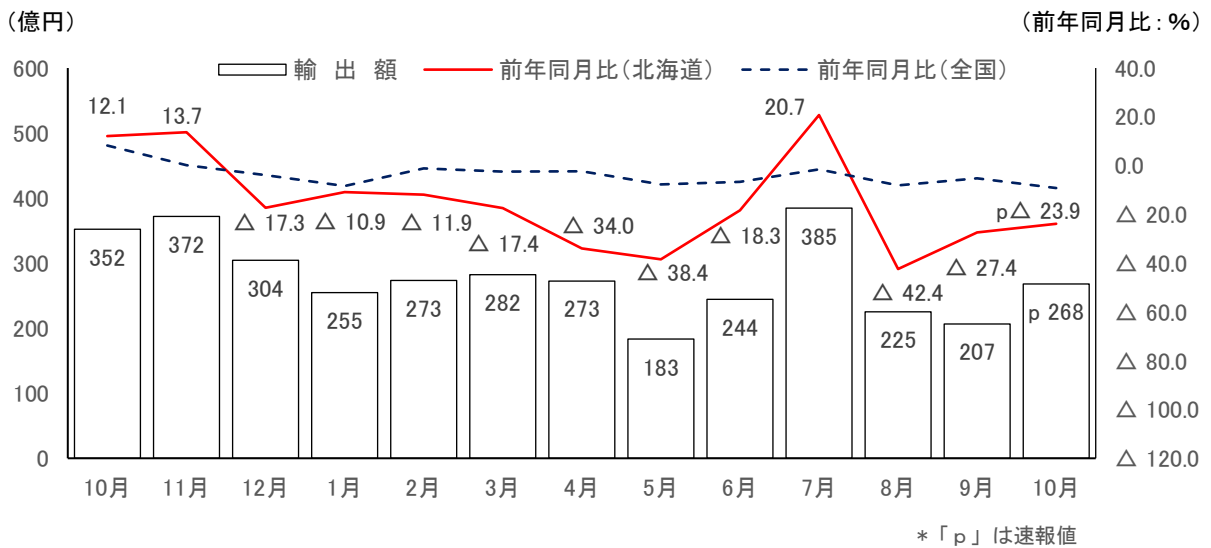
\*「p」は速報値

(資料:法務省入国管理局)

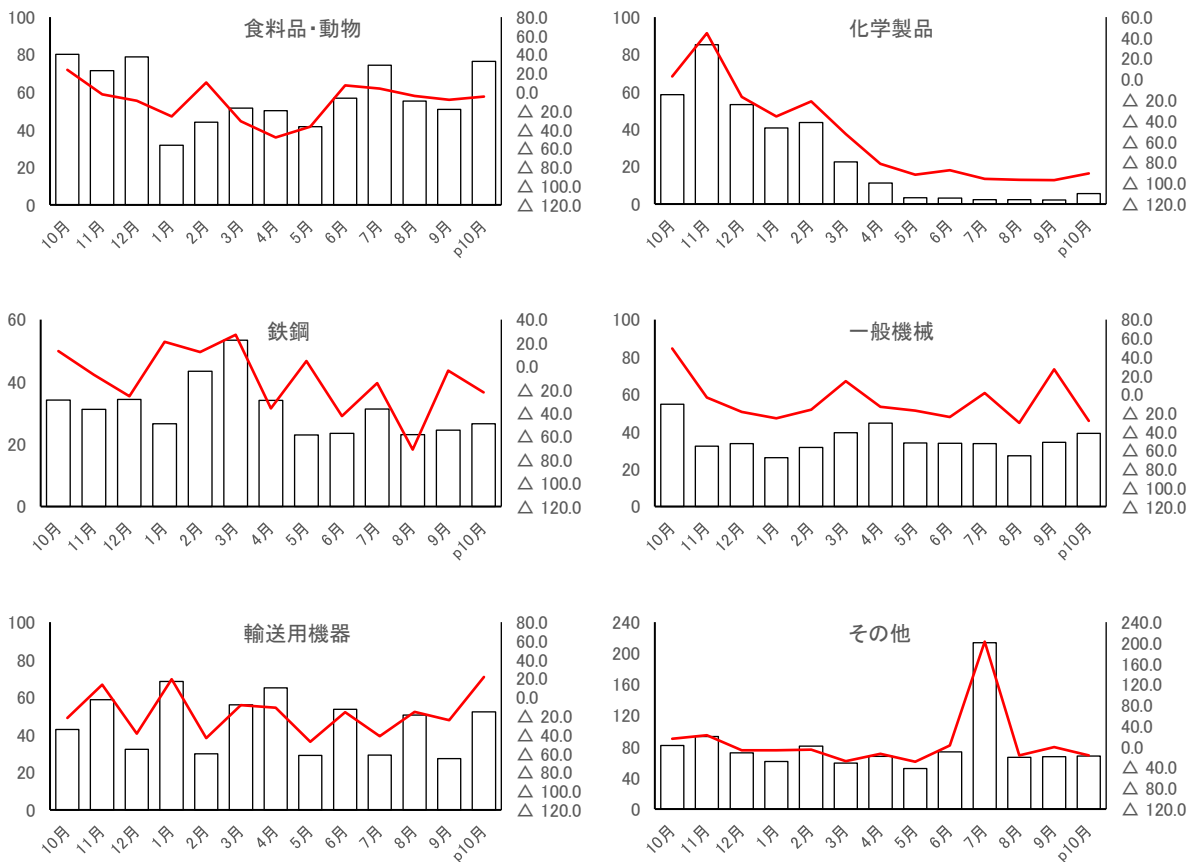
# ■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を下回った

## 輸出額（10月）

輸出額は、268億円で前年同月比23.9%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。品目別にみると、化学製品（有機化合物、鉱物性タール及び粗薬製品）などが減少した。



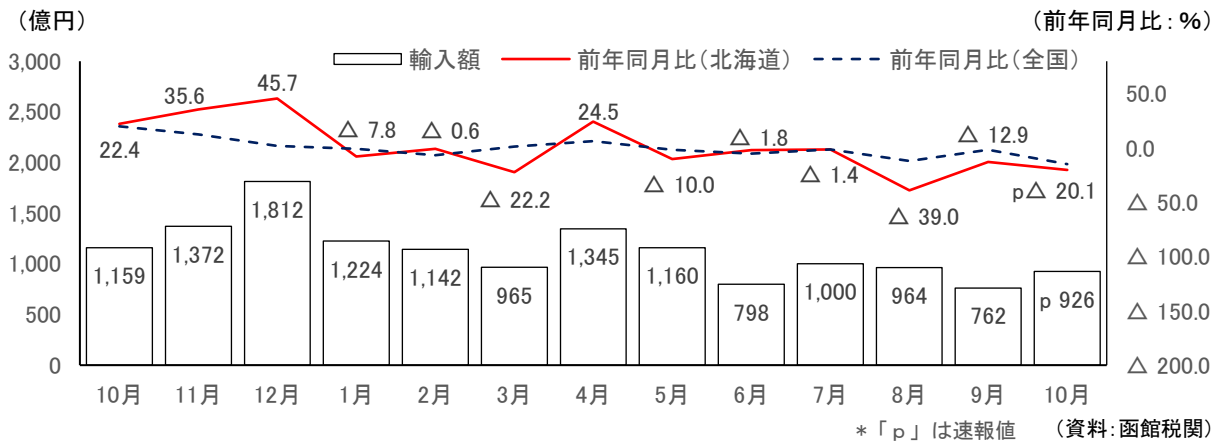
## ■種類別の輸出額（右軸：前年同月比%）



(資料: 函館税関)

## 輸入額（10月）

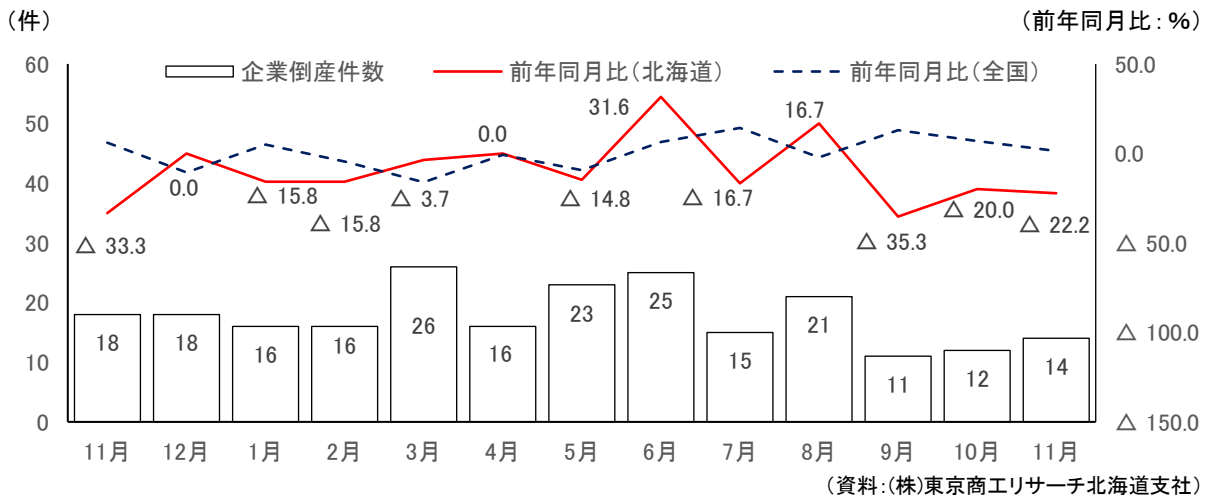
輸入額は、926億円で同20.1%の減少となり、6か月連続で前年を下回った。  
品目別にみると、石油製品、石油ガス類、電気機器などが減少した。



## ■企業倒産～倒産件数、負債総額とも減少した

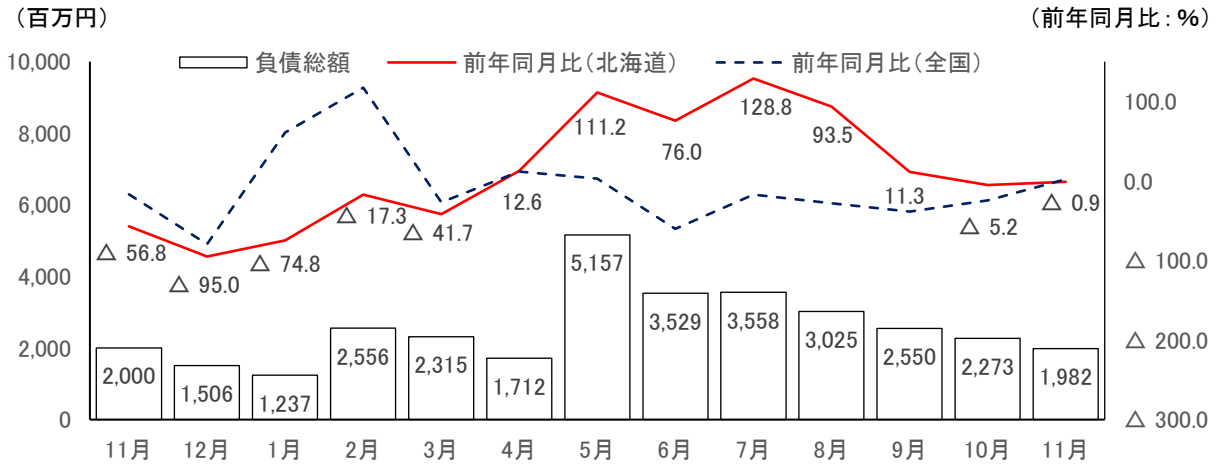
### 倒産件数（11月）

企業倒産件数は14件で前年同月比22.2%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。  
原因別でみると、販売不振が11件（構成比78.6%）と半数以上を占めた。  
業種別でみると、サービス業が6件（構成比42.9%）、建設業が4件（28.6%）となった。

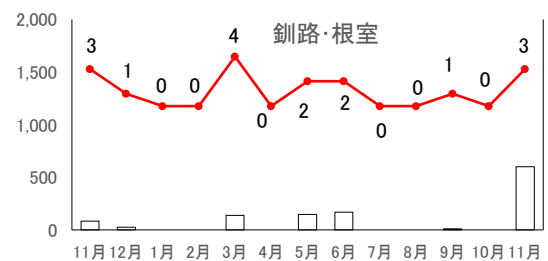
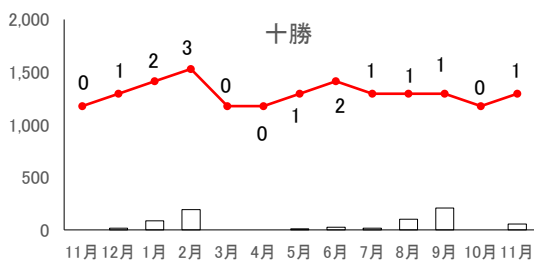
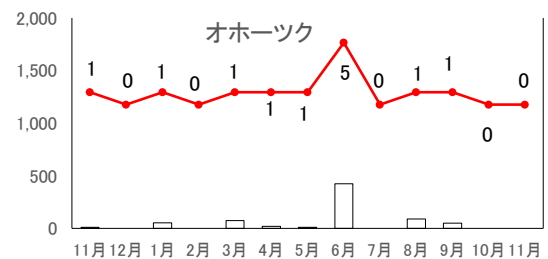
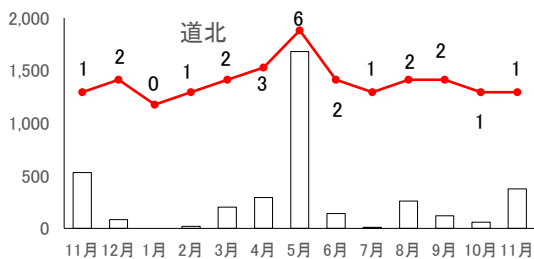
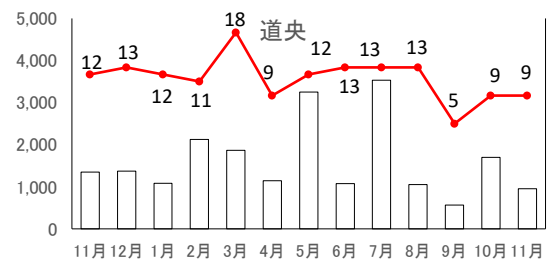
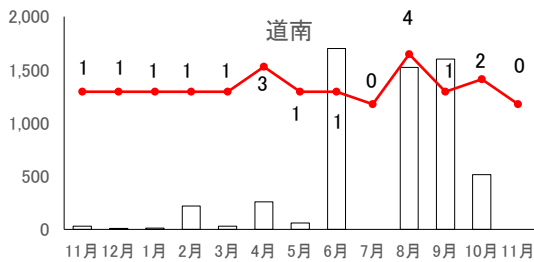


## 負債総額（11月）

負債総額は、19億82百万円で同0.9%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。



### ■各圏域の負債総額と倒産件数（折れ線）



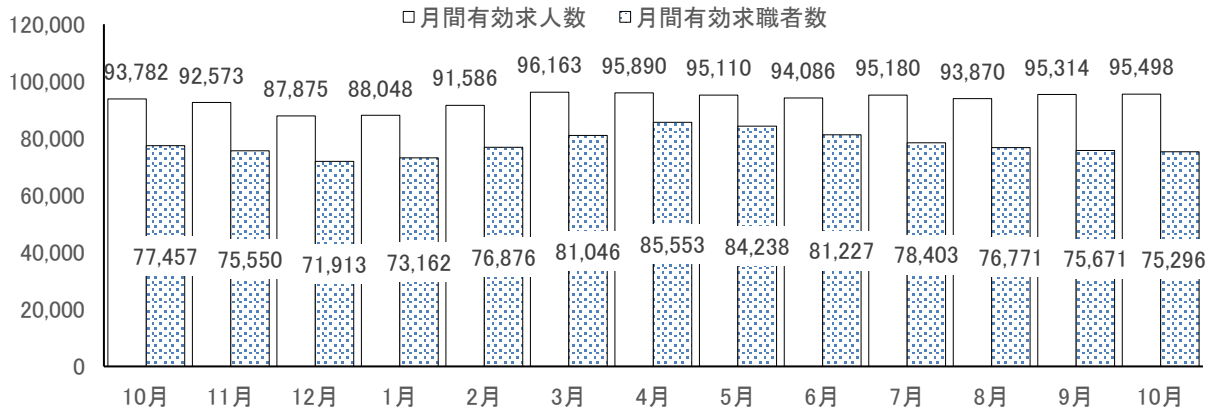
(資料:(株)東京商工リサーチ北海道支社)

## ■求人・求職～改善が進む中、人手不足感がみられる

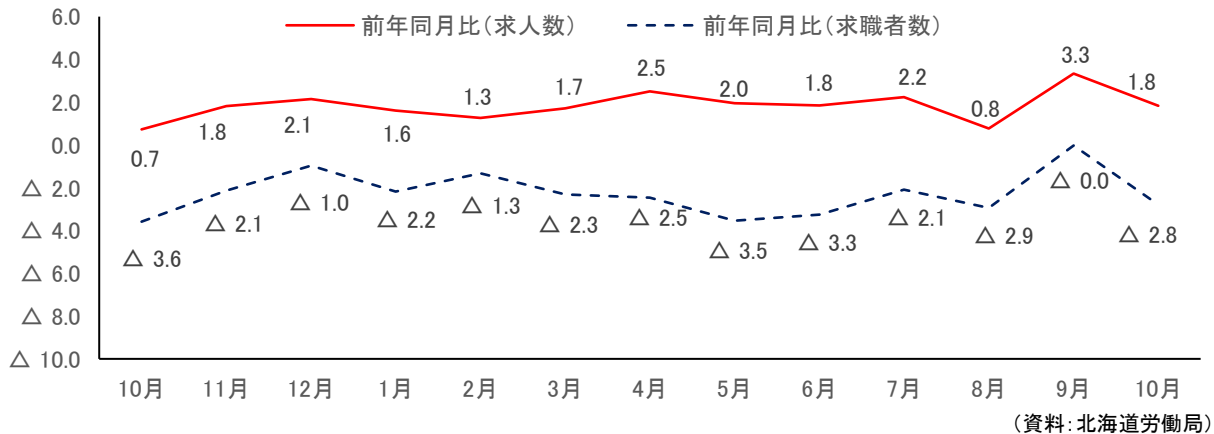
### 月間有効求人数・求職者数（10月）

月間有効求人数は、9万5,498人で前年同月比1.8%の増加となり、13か月連続で前年を上回った。月間有効求職者数は、7万5,296人で同2.8%の減少となり、96か月連続で前年を下回った。

(人)

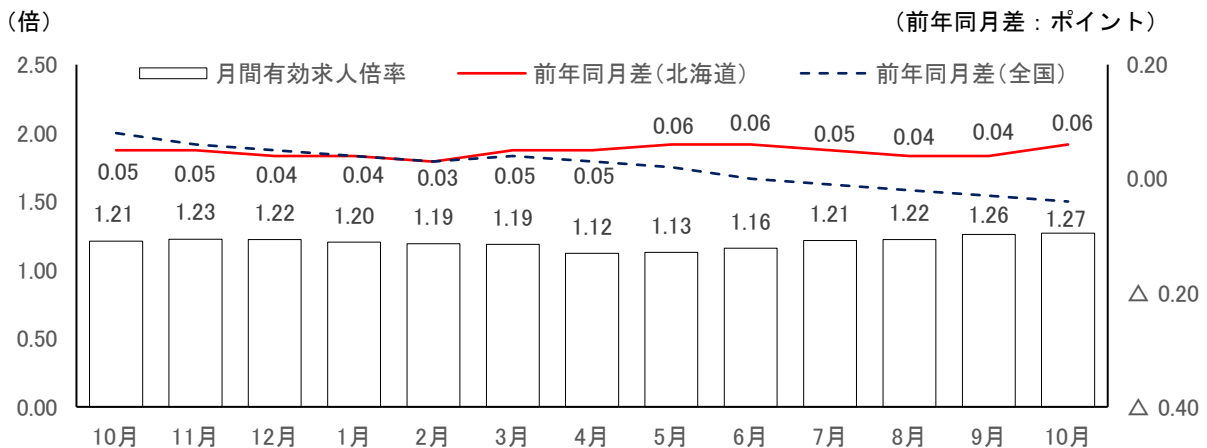


(前年同月比：%)

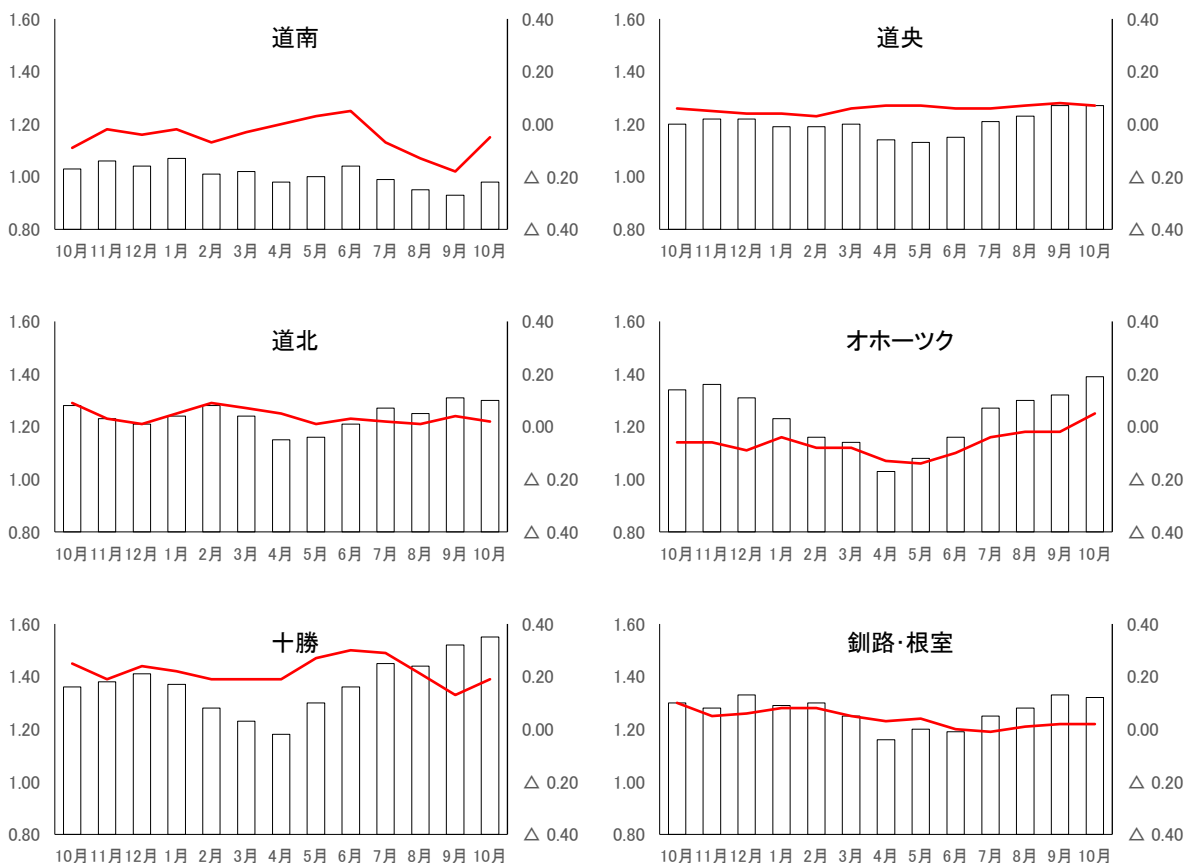


### 月間有効求人倍率（10月）

有効求人倍率は1.27倍で、前年同月差で0.06ポイントの増加となり、117か月連続で前年を上回った。



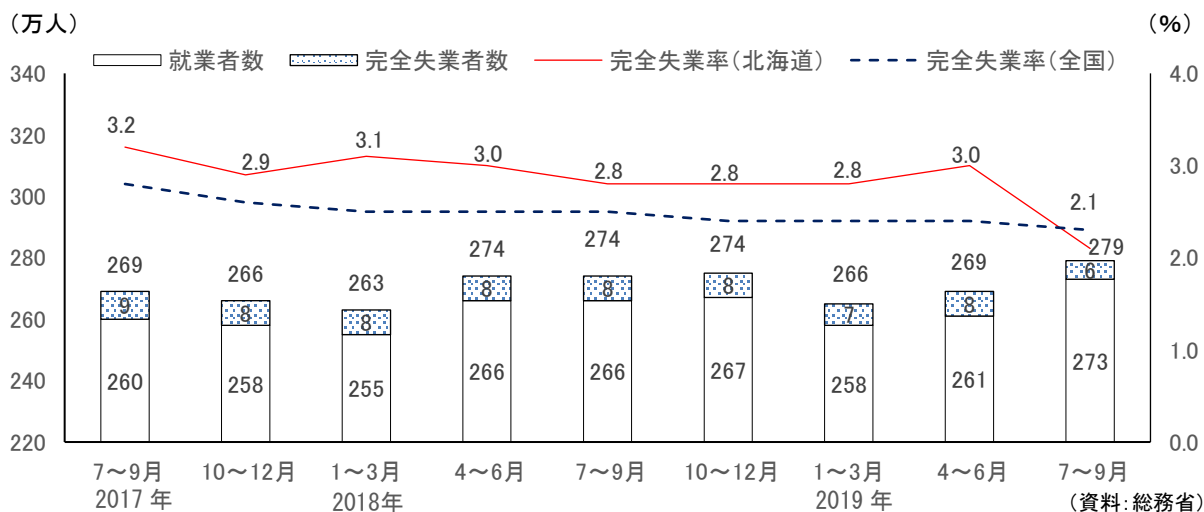
■各圏域の月間有効求人倍率（右軸：前年同月差）



(資料:北海道労働局)

完全失業者数、完全失業率（令和元年7月～9月）

完全失業者数は、6万人で前年同期と比べ、2万人の減少となっている。  
完全失業率は、2.1%で前年同期と比べ、0.7ポイント低下となっている。

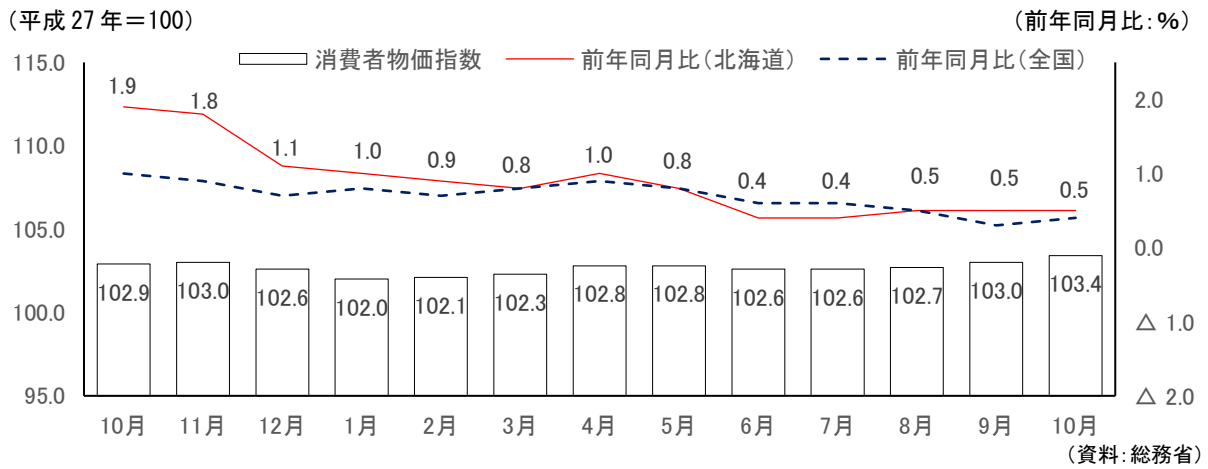


(資料:総務省)

## ■物価～消費者物価指数は前年を上回った

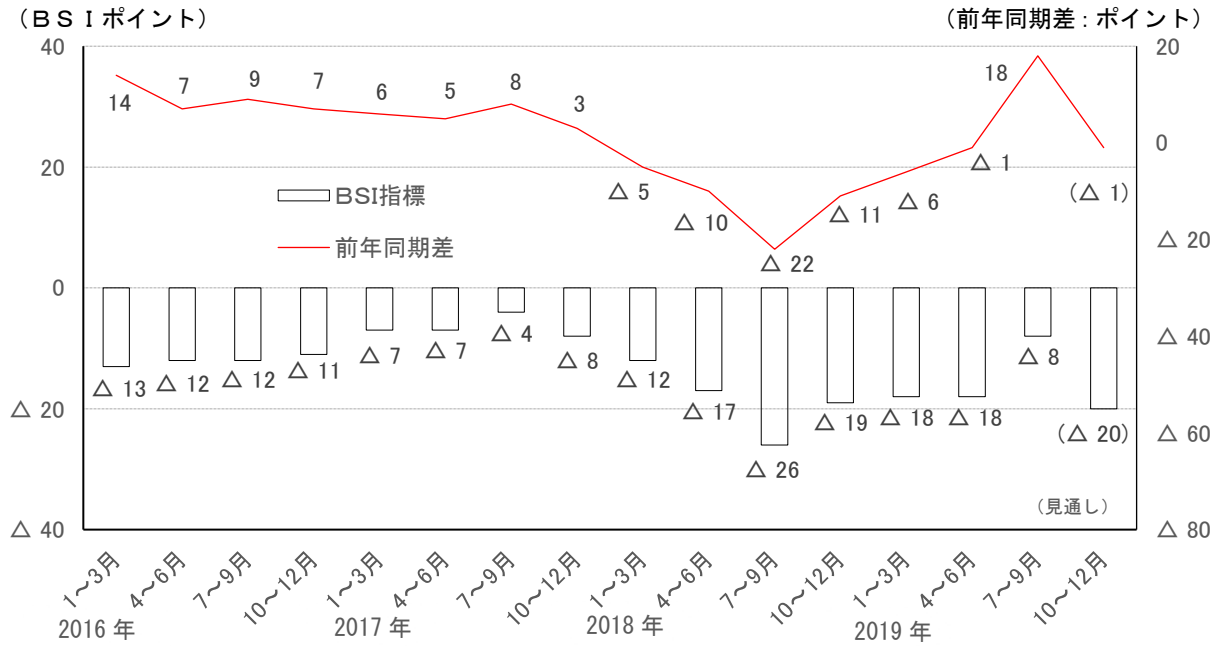
### 消費者物価指数（10月）

消費者物価指数（生鮮食品を除く）は、103.4で前年同月比0.5%の上昇となり、35か月連続で前年を上回った。

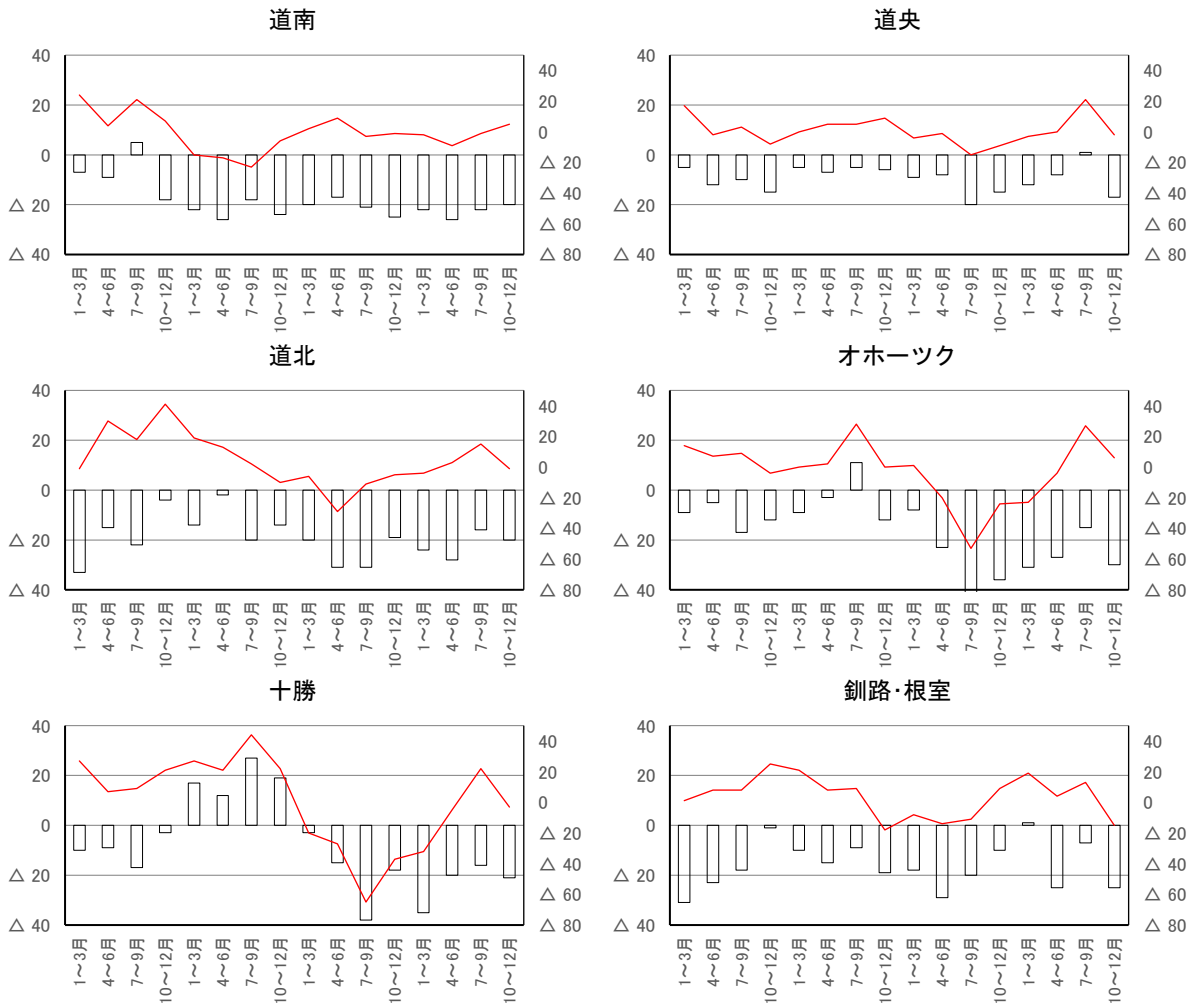


## ■企業経営者意識調査～前期から上昇している

令和元年7～9月期の業況感BSIは△8で、前期から10ポイント上昇しており、前年同期より18ポイント上昇している。来期は△20ポイントで、今期から12ポイント低下の見通しとなっている。



## ■各圏域の業況感BSI (右軸：前年同期差)



(北海道経済部調べ)



## ■企業のみなさまから伺いました

### ◆百貨店（道央地域）

#### 【駆け込み需要の反動減が続く】

11月以降も消費増税前の駆け込み需要による反動減が続いており、衣類、特に紳士物の売上が大きく落ちている。一方で、11月下旬に企画したブラックフライデーの企画と降雪の時期が重なったため、この期間の靴の売上が大きく伸びた。また、12月は祝日が今年から1日減ることから、売上に影響が出ることが予想される。

#### 【インバウンド売上は回復傾向】

インバウンド売上については、このところ減少傾向が続いていたが、中華圏から雪が目的で来日するお客様が増えているためか、11月下旬頃から回復傾向が続いている。

### ◆コンビニエンスストア（道央地域）

#### 【気温が低く推移し客足は鈍ったものの、売上は前年を上回った】

11月は、気温が低く推移し客足が鈍ったものの、売上は前年以上となった。中食・内食に係る販売が増えており、消費増税によって外食ではない食事回数が増加している可能性がある。また、政府のポイント還元事業により、キャッシュレス決済比率が高まっている。

### ◆宿泊業（道央地域）

#### 【客室稼働率は前年並み】

11月は人気グループのコンサートやフィギュアスケートの国際大会が札幌市内で開催され、国内の宿泊客が増加したものの、国際情勢の影響で海外客は減少したため、客室の稼働率は前年並みとなった。

#### 【厳しい予約状況】

韓国との直行便の大幅な減便による影響に加え、昨年度後半にあった「北海道ふっこう割」のような観光支援策が今年はないため、12月に入ってから予約状況は国内・国外客ともに厳しくなっている。

### ◆ドラッグストア（道央地域）

#### 【売上は好調に推移し、客単価が大きく増加】

直近の売上等の状況については、9・10月に売上、客単価、客数ともに上昇しており、特に客単価が大きく伸びた。インバウンドについては中国が売上の大半を占めているため、今のところ日韓関係悪化の大きな影響はない。

地域によっては人手不足が生じているが、人手不足に伴う人件費の上昇は、売上総利益率向上でカバーしており、営業利益率は横ばいとなっている。

### **【消費増税の影響は想定内】**

消費増税前の駆け込み買いは9月最終週が想定以上だったものの、全体的には予測の範囲内だった。キャッシュレス決済はこのところ緩やかな上昇傾向であり、駆け込み時期はクレジット決済が増加した。増税後の反動減がどのくらいの期間継続するかについては、今後注視していきたい。

## 最近の経済動向

令和元年12月号

---

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

---

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>